

陳 情 文 書 表

受 理 番 号	3 2 5 1	受 理 年 月 日	令 和 4 年 9 月 26 日
件 名	暗殺事件に係る暴力非難及び暴挙（暗殺）未然防止の決議		
要 旨	<p>安倍晋三元内閣総理大臣は、令和4年7月8日午前11時30分頃、参議院議員通常選挙候補者応援のため、奈良市近鉄大和西大寺駅前で街頭演説中、41歳の男性（暴漢）に背後から銃撃され、同日午後5時3分、医療関係者、消防救急隊員等の必死の蘇生及び医師による懸命な治療の甲斐もなく御逝去された。ここに、京都市民の一人として突然の急逝に接し、心より哀悼の意を表する。</p> <p>これまで日本は世界でも最も治安の良い、安全で安心できる国であるとの評価を受けてきたが、白昼、市民聴衆の面前で起こった暴挙は、日本国内はもとより世界を震かんさせ、日本は安全安心でない不安を抱かせることとなり、その信頼を損なった。</p> <p>日本国として、また国民の一人としても最大の衝撃であり、日本の恥部ともなることから、断腸の思いである。</p> <p>予測不可能な激動の時代、世界の危機、日本の危機が身近に迫る中において、世のため、人のため、家族のために頑張ってきた安倍晋三元内閣総理大臣には、まだまだ多くの国民は期待していたが、銃弾を受け一声も発せず御逝去された御自身も、私たち多くの国民同様に無念極まりなかったかと拝察する次第である。</p> <p>安倍晋三元内閣総理大臣の国葬の儀が9月27日に決定され、国内外から要人が多数参列される。また、来年5月、広島県で先進国主要会議（G7）が開催され、世界の指導者・要人が多数参加される。これら国内外の要人を迎えるに当たり、油断と間隙が生ずれば、暴挙（暴力）が第2、第3と間断なく連鎖的に発生する可能性は否めない。</p> <p>日本国の国際的信用にも関わることとなり、重大な外交問題に発展するおそれとなる。京都市は、それら要人が必ずと言っていいほど入浴されることから、京都市会をはじめ、京都市会議員の皆様方は、京都市と京都市民の誇りある代表者であることを強く自覚され、明日は我が身になるかもしれぬという危機意識を共有し、国内外からの要人警備（警護）の重要性と警察庁及び京都府警察と緊密な連携強化を図り、不測の事態への備えを万全にし、事案の絶無を市民目線から要望する。</p> <p>私たち全国令和党（全国令和）は、暗殺事件は民主主義の破壊であり、当事者が誰であろうとも、この暴挙（暴力）は許してはならず、決して容認してはならないと強く訴える。京都市会、京都市会議員は、8年8か月の永きに渡り、世界と日本との架け橋を構築された安倍晋三元内閣総理大臣の遺志をしっかりと引き継ぎ、京都市民はもとより日本国、日本国民のために、その範を示していただきたい。</p> <p>全国令和党（全国令和）のこの陳情を十分に御理解していただき、京都市会は建設的な検討をされ、暴力・暴挙（暗殺事件）に警鐘を鳴らし、未然防止に行動をもって実現されるよう心から切望する。</p> <p>したがって、京都市会におかれては、暴力非難決議、暴挙（暗殺事件）未然防止決議を討議され、全会一致で議決していただくことを、京都市民の声として強く陳情する。ついては、以下のことを願う。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 要人警備（警護）対象者安倍晋三元内閣総理大臣暗殺事件に係る暴力非難決議及び暴挙（暗殺）未然防止決議 2 京都市民を精神的、心理的ストレスから守り、国民の生命、身体、財産を守る、安全安心な京都市づくり、まちづくり 		
陳 情 者			
回 付 委 員 会	総 務 消 防 委 員 会		